

WUOC2018 報告書

現地帯同スタッフ 杉村 俊輔

1. 大会概要

大会名: FISU World University Orienteering Championships (以下、WUOC)

開催地: Kuortane, Finland

参加国、参加者数: 33 か国、249 名(以下の表を参照、Bulletin 4 より引用)

表 1. 参加国および参加者数

		Country	Competitors			Officials	Total
			Men	Women	Total		
1.		Australia	6	6	12	2	14
2.		Austria	4	4	8	2	10
3.		Belgium	5	0	5	1	6
4.		Canada	5	2	7	1	8
5.		Czech Republic	6	6	12	3	15
6.		China (People's Republic of)	6	5	11	6	17
7.		Denmark	3	1	4	1	5
8.		Estonia	1	4	5	0	5
9.		Finland	6	6	12	3	15
10.		France	6	4	10	4	14
11.		Germany	6	6	12	4	16
12.		Hungary	6	5	11	2	13
13.		Ireland	1	3	4	1	5
14.		Israel	4	1	5	1	6
15.		Italy	2	2	4	3	7
16.		Japan	6	6	12	1	13
17.		Latvia	4	3	7	0	7
18.		Lithuania	3	3	6	0	6
19.		Malaysia	1	0	1	1	2
20.		New Zealand	3	3	6	1	7
21.		Norway	6	6	12	2	14
22.		Poland	4	4	8	0	8
23.		Republic of Moldova	2	0	2	0	2
24.		Romania	1	1	2	1	3
25.		Russian Federation	6	6	12	1	13
26.		Serbia	1	0	1	0	1
27.		Slovakia	3	4	7	2	9
28.		Spain	3	3	6	2	8
29.		Sweden	6	6	12	3	15
30.		Switzerland	6	6	12	3	15
31.		Ukraine	1	1	2	0	2
32.		United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	6	6	12	2	14
33.		United States of America	4	3	7	1	8
Total			133	116	249	54	303

2. 大会日程、日本チームのスケジュール

表 2. 遠征日程

日時	内容
7月9日	先発組フィンランド到着
7月10日	トレーニング
7月11日	トレーニング
7月12日	トレーニング
7月13日	トレーニング、後発組合流
7月14日	トレーニング
7月15日	トレーニング、大会受付
7月16日	モデルイベント、スプリント競技エリア視察、開会式
7月17日	モデルイベント、 スプリントリレー
7月18日	ミドル
7月19日	スプリント
7月20日	ロング
7月21日	リレー 、閉会式
7月22日	宿舎出発、解散

※先発組は坂梨、杉村を除く 11 名となる。

3. 代表選手、出場種目

表 3. 選手の氏名、所属および出場種目

	氏名	所属	出場種目
男子	伊藤 樹	横浜国立大学4年	スプリントリレー、スプリント、ロング、リレー
	大橋 陽樹	東京大学 3年	スプリント、ミドル、リレー
	上島 浩平	慶応義塾大学 4年	スプリント、ミドル、リレー
	坂梨 敬哉	慶応義塾大学卒	ミドル、ロング、リレー
	種市 雅也	東京大学 3年	スプリントリレー、スプリント、ロング、リレー
	南河 駿	名古屋大学卒	ミドル、ロング、リレー
女子	勝山 佳恵	茨城大学 4年	スプリントリレー、スプリント、ミドル、リレー
	佐野 萌子	京都女子大学 4年	スプリント、ロング、リレー
	高橋 友理奈	東北大学 4年	スプリント、ミドル、リレー
	増澤 すず	筑波大学 3年	スプリントリレー、スプリント、ロング、リレー
	村田 茉奈美	フェリス女学院大学 4年	ミドル、ロング、リレー
	山森 汐莉	金沢大学 4年	ミドル、ロング、リレー

スタッフ: 大西 康平、杉村 俊輔(現地帯同のみ)

4. 大会結果

スプリントリレー (2018 年 7 月 17 日、23 チーム出走)

女子: 3.6 km (28-31 m) 男子: 4.3 km (30-35 m)

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	Switzerland			56:55	
	1 Paula GROSS			13:59	2
	2 Jonas EGGER	14:42	5	28:41	3
	3 Joey HADORN	13:55	1	42:37	1
	4 Martina RUCH	14:18	6	56:55	1
2	Poland			57:42	
	1 Agata STANKIEWICZ			14:47	10
	2 Piotr PARFIANOWICZ	14:21	2	29:08	5
	3 Krzysztof WOLOWCZYK	14:40	5	43:48	4
	4 Aleksandra HORNIK	13:53	4	57:42	2
3	France			57:53	
	1 Delphine POIROT			14:06	3
	2 Adrien DELENNE	14:22	3	28:29	1
	3 Arnaud PERRIN	14:38	4	43:07	2
	4 Florence HANAUER	14:45	8	57:53	3
16	Japan			1:06:16	
	1 Suzu MASUZAWA			15:28	15
	2 Masaya TANEICHI	16:02	18	31:31	17
	3 Itsuki ITO	16:30	17	48:01	16
	4 Yoshie KATSUYAMA	18:14	21	1:06:16	16

ミドル (2018 年 7 月 18 日、男子 100 名、女子 89 名出走)

男子: 6.0 km (140 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Aleksi KARPPINEN	Finland	36:14
2	Paul SIRUM	Norway	36:21
3	Håvard HAGA	Norway	36:32
63	Kohei KAMIJIMA	Japan	59:27
65	Haruki OHASHI	Japan	1:00:04
74	Shun MINAMIKAWA	Japan	1:09:32
75	Takaya SAKANASHI	Japan	1:09:45

女子: 5.1 km (100 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Emma BJESSMO	Sweden	37:32
2	Marie OLAUSSEN	Norway	38:51
3	Johanna ÖBERG	Sweden	38:53
72	Yurina TAKAHASHI	Japan	1:22:21
75	Yoshie KATSUYAMA	Japan	1:26:03
77	Manami MURATA	Japan	1:27:51
	Shiori YAMAMORI	Japan	DNF

スプリント (2018 年 7 月 19 日、男子 102 名、女子 86 名出走)

男子: 4.0 km (7 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Tim ROBERTSON	New Zealand	13:44.2
2	Trond Einar MOEN PEDERSLI	Norway	13:52.1
3	Henry MCNULTY	Australia	14:08.3
52	Kohei KAMIJIMA	Japan	15:48.6
56	Masaya TANEICHI	Japan	15:58.9
67	Itsuki ITO	Japan	16:28.0
82	Haruki OHASHI	Japan	17:15.2

女子: 3.5 km (7 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Virág WEILER	Hungary	13:48.3
2	Martina RUCH	Switzerland	13:48.8
3	Aleksandra HORNIK	Poland	13:58.8
52	Suzu MASUZAWA	Japan	16:16.6
57	Moeko SANO	Japan	16:26.1
75	Yoshie KATSUYAMA	Japan	18:03.9
81	Yurina TAKAHASHI	Japan	19:47.1

ロング (2018 年 7 月 20 日、男子 93 名、女子 84 名出走)

男子: 12.4 km (160 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Jonas EGGER	Switzerland	1:11:23
2	Paul SIRUM	Norway	1:11:54
3	Håvard HAGA	Norway	1:12:15
50	Shun MINAMIKAWA	Japan	1:36:26
73	Masaya TANEICHI	Japan	1:47:54
78	Itsuki ITO	Japan	2:01:26
83	Takaya SAKANASHI	Japan	2:09:12

女子: 9.7 km (150 m)

順位	氏名	国名	タイム
1	Marie OLAUSSEN	Norway	1:13:18
2	Johanna ÖBERG	Sweden	1:13:59
3	Paula GROSS	Switzerland	1:15:48
55	Suzu MASUZAWA	Japan	1:47:10
71	Shiori YAMAMORI	Japan	2:11:27
75	Moeko SANO	Japan	2:15:50
79	Manami MURATA	Japan	2:33:08

リレー (2018 年 7 月 21 日、男子 42 チーム、女子 36 チーム出走)

男子: 5.1-5.3 km (115 m)

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	Norway A			1:36:32	
	1 Håvard HAGA			31:45	4
	2 Audun HEIMDAL	32:07	1	1:03:52	1
	3 Paul SIRUM	32:39	4	1:36:32	1
2	Finland A			1:36:55	
	1 Aleksi ANTTOLAINEN			32:25	9
	2 Aleksi KARPPINEN	32:10	2	1:04:35	3
	3 Eetu SAVOLAINEN	32:19	3	1:36:55	2
3	Switzerland A			1:36:56	
	1 Florian SCHNEIDER			31:36	2
	2 Christoph MEIER	33:02	5	1:04:38	5
	3 Jonas EGGER	32:17	2	1:36:56	3
32	Japan B 2			2:31:04	
	1 Itsuki ITO			52:42	37
	2 Kohei KAMIJIMA	45:14	31	1:37:57	33
	3 Takaya SAKANASHI	53:07	31	2:31:04	32
35	Japan A			2:38:04	
	1 Shun MINAMIKAWA			57:39	40
	2 Masaya TANEICHI	50:12	34	1:47:52	37
	3 Haruki OHASHI	50:12	28	2:38:04	35

女子: 4.4-4.5 km (95 m)

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	Norway A			1:53:10	
	1 Ingrid LUNDANES			36:51	2
	2 Ingeborg EIDE	39:41	7	1:16:33	5
	3 Marie OLAUSSEN	36:37	2	1:53:10	1
2	Finland A			1:53:23	
	1 Enni JALAVA			36:42	1
	2 Sanni KIVELÄ	39:08	4	1:15:50	2
	3 Alexandra ENLUND	37:32	3	1:53:23	2
3	Switzerland A			1:55:23	
	1 Sina TOMMER			36:57	4
	2 Lisa HOLER	38:32	3	1:15:30	1
	3 Paula GROSS	39:53	7	1:55:23	3
31	Japan A			3:04:22	
	1 Suzu MASUZAWA			56:14	33
	2 Yoshie KATSUYAMA	1:01:42	30	1:57:57	31
	3 Yurina TAKAHASHI	1:06:25	29	3:04:22	31
32	Japan B 2			4:22:46	
	1 Moeko SANO			1:08:12	34
	2 Shiori YAMAMORI	1:09:18	31	2:17:30	32
	3 Manami MURATA	2:05:15	33	4:22:46	32

5. 総括

第 21 回世界大学オリエンテーリング選手権(WUOC2018)は、フィンランドのクオルタネにて、7月17日から7月21日の日程で開催されました。

今回の代表メンバーは、男女ともに JWOC や WOC 等の国際大会の出場経験がある選手や、インカレ選手権で入賞経験がある力のある選手を揃えることができました。また、今回の WUOC から参加資格の年齢上限が 28 歳から 25 歳へと変わったこともあり、その影響からか大学生を中心とする若い選手が多く選出されました。数年前まで懸念されていたような、学連全体として WUOC に興味を持つ人の低下に関しては、今回に関しては解消されていたようにも思えます。今後も引き続き、多くの方に WUOC 等の国際大会に興味を持っていただけたら幸いです。もちろん、広報活動も機会を設けて積極的に行っていくべきだと思っています。

日本チームの成績については上記にまとめた通りです。まず、スプリントリレーでは初めて順位を残すことができました。しかも、中盤から終盤まで競り合った中での結果ですので、十分評価できると思います。また、スプリント種目では、男女ともに 50 位台の選手が 2 人ずついて、これは近年の日本チームの中でも良い成績であったと思います。これらの好成績の背景として、2015 年度よりインカレスプリントが開催されるようになり、学生全体としてスプリント種目の競技力や意識が高まっていることが挙げられるのではないかと考えております。ロング種目では、南河選手が 50 位、増澤選手が 55 位という良い成績を残すことができました。北欧のトレインでのこの結果ですので、よく頑張ってくれたと思います。

今後としては、スプリント種目でもフォレスト種目でも、50 位というのがまず一つの大きな目標になるのではないかと思います。学生トップの実力を持ち、それを十分に発揮することができれば決して不可能な数字ではないと思いますし、そのことは今回出場した選手たちが示してくれたと思います。50 位前後を狙える選手を複数人そろえて、さらに連戦の中でのコンディショニングを確実に行うことができれば、リレー種目でも中堅国との勝負に割って入るチャンスがあるのではないかと考えております。

最後になりましたが、セレクションや壮行会、合宿などでご尽力いただきました JOA 関係者の皆様、技術委員会の関係者の皆様、そして日本から選手に熱い声援を送ってくださった皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。



開会式にて

以上